

はばたき

橋北小学校
学校だより

No.8

令和元年 7月12日

夏休みまで、あと1週間となりました。1学期の振り返りを丁寧に行って、夏休みも気持ちよくスタートを切ってほしいと思います。また、13日から3連休になりますので、安全に気をつけて過ごしてください。

16日～18日は1学期の個別懇談会でお世話になります。通知表につきましては、昨年度と同様のものを使っています。1学期、子どもたちは本当によくがんばりました。個別懇談会では、担任とともに1学期を振り返っていただき、2学期に向けてもう少しがんばったらさらによくなる教科や活動等、また、その手立て等について話をさせていただければと思います。そして、ご家庭では、子どもたちのがんばりを認め、ほめてあげてください。

◆コミュニティスクールの委員さんと給食を食べました

本校では、本年度より「四日市版コミュニティスクール」の指定を受けています。四日市版コミュニティスクールは、学校と10人程度の委員で構成する運営協議会を設置し、「学校づくりビジョン」の実現に向け、学校運営や学校教育活動の充実について協議します。また、保護者や地域の方たちの学校運営、学校教育活動への参画・支援等のあり方について協議し、地域の方たちや地域の関係団体からのご支援等が組織的・継続的に行われるように組織体制の整備に努めることが主な役割です。また、年度初めや年度末には、学校づくりビジョンの承認や学校評価についてもご協力いただきます。

四日市版コミュニティスクールの取り組みは、「地域全体で子どもを育てよう」という機運を高める役割も担っています。そのため、この取り組みを通して、学校教育の充実だけでなく、子どもの地域活動への参加や地域の方同士の交流の広がりなど地域コミュニティづくりにも役立つように努めていきたいと思っています。

7月3日に第2回コミュニティスクール運営協議会を開催しました。本年度スタートしたばかりの本校のコミュニティスクールです。まずは、コミュニティスクールの委員の方たちに学校の運営についてより詳しく知っていただきたいと考え、各校務分掌の担当の教員から、それぞれの視点で、学校や子どもたちの様子を伝えさせていただきました。また、第1回の運営協議会の時に授業参観をしていただきましたので、今回は子どもたちといっしょに給食を食べていただきました。コミュニティスクールの委員さんをむかえ、どこか緊張しながらもうれしそうな子、積極的に委員の方に話しかける子等様々でした。子どもたちにとって、とても楽しい時間となったようでした。



◆プログラミング出前授業

7月5日（金）に、4年生と5年生が放課後NPOアフタースクールさんのプログラミングの出前授業を受けました。



プログラミング教育は2020年度から、すべての小学校において必修化されます。子どもたちが大人となり活躍する時代には、今以上に情報があふれ、それらの情報や情報技術を受け身でとらえるのではなく、手段として活用していく力が求められています。プログラミング教育を含む情報活用能力を育むことは、今後、ますます重要となってきます。

7月5日、本校の子どもたちが取り組んだ授業は、カードゲーム等でプログラミングについて楽しく学習した後、「料理」をテーマに、プログラミングの考え方をタブレットを使って実践の中で理解していくものでした。



4年生も、5年生も、講師の先生たちの出す課題について班で話し合っていて考えたり、タブレットを使ってペアの子とプログラミングを体験したり、みんな、生き生きと楽しそうに取り組んでいました。

◆不審者対応訓練が行われました

7月8日（月）の5時間目、「授業中に、刃物を持った不審者が昇降口西口から侵入した」という想定で不審者対応訓練が行われました。不審者対応訓練は毎年行っているものですが、今年度は四日市南警察に協力していただき、さらに細かい想定や事前の指導を受けた上で、実施しました。今回、不審者の役を警察の方をお願いしました。子どもたちは緊張しながらも教職員の指示をしっかりと聞き、行動することができました。教職員も子どもたちを守るのに一生懸命でした。最終的には、不審者を確保できたことを確認後、子どもたちは中央階段から体育館に移動し、今回の緊急事態（訓練）についての説明を聞いたり、警察の方からの話を聞いたりしました。

警察の方の話で、この訓練は不審者が学校に侵入したときに“どのような対応をしたらよいのか学ぶための訓練”であり、地震や火事の避難訓練といっしょで『お・は・し・も』の約束が大切であるということをお話いただきました。『お・は・し・も』の約束は、自分の命だけでなく、友達の命を守るためにも大切であることを具体例を交えて話をいただきました。

災害もそうですが、このような緊急事態は実際に起こってほしくないことです。しかし、残念ながら、いつ災害が起こったり、緊急事態に直面したりするかわからない状況があります。だからこそ、学校においては命を守るための訓練を計画的・継続的に行うとともに、子どもたちには自分で命を守ることでできる力（判断力・行動力など）をつけていってほしいと思います。

